



北米ホーリネス教団
オレンジ郡
キリスト教会
「週報」

2013年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 1日2章の聖書日課に励む
3. 日ごとの写教に励む
4. 定期の祈り会に参加
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am
 コーヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm
 みふみ会 : 水曜日 10am
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm
 早天祈禱会 : 土曜日 7am
 家庭集会 : 各地区に2箇所
 牧 師 : 杉村 幸 (日本語部)
 : 益田デーロ (英語部)
 電 話 : (714) 827-6244 (教会)
 : (714) 527-1456 (牧師館)
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com
 教会ホームページ : www.occc.org
 教会所在地 : 4872 Bishop St.
 Cypress, CA 90630

石 叫 石

◎石叫■

「聖地旅行」その③

イスラエルはロサンゼルススの気候と酷似していて乾燥気候だ。だから植生は同じようだ。しかし緑が多く果樹園も実が多い。それは世界に輸出するほどに豊かである。ユダヤ人たちはこの荒涼とした地とにかく植樹してきた。それは彼らが祖国再建のために最優先してきた国家プロジェクトの一環でもあった。

急な坂道の多いハイファはイスラエル第三の都市である。ガイドから聞いた話だが、「この町はユダヤ人とパレスチナ人が同数で、皆が仲良く暮らしていて、イスラエルでは一番安全な町です」と聞かされた。予定していたホテルを目の前にした時だった。僕ら一行を乗せたバスはしばらく路上に止まっていた。もちろん後続の車が長蛇の列を作っている。そこで、とつぜん動いたかと思うと、その狭い道をいきなりUターンしはじめたのである。一回では回りきれないので、数回バスを前後させて、ホテルのまん前にピタリと停車した。バスを前後するたびに毎に道路に面した建物にぶつかるとは思わなかった、一同ハラハラして見ていたのだが、ドライバーの手際の良さに僕は思わず手を叩いていた。

最初のホテルでの夕食は、香辛料が強いものばかりで僕にはなじみず、あまり喉を通らなかつた。食後の六時過ぎ頃、ものめずらしさも手伝だつて同室の稲野実先生と一緒に近隣を散策しはじめたのだが、もうほとんどどの店が閉まっていた。ごみごみした狭い町並みと中近東特有の匂いが、やが上にも異国情緒をかもし出している。面白かったのは、ホテルのすぐ隣の建物から出ている直径十センチほどの下水パイプが、歩道を挟んでアーチ型に据えられていたことだった。思わず僕は暗がりの中で、カメラのシャッターを切っていた。

翌朝、同室の稲野先生は祈りのために早く起きて部屋を出ていった。いつも四時に起きて祈っているというつわものだ。僕は時差ぼけを理由にユツタリしてようと一瞬思ったのだが、聖地に来ていつまでも寝ていては神様に申し訳ないとはばかり、聖書に喰らいつく。哀歌に「主のいつくしみは絶えることがなく、そのあわれみは尽きることがない。これは朝ごとに新しく、あなたの真実は大きい」(二・22~23)とある。その主の恵みを逃してなるものか!

今朝は世界遺産の一つであるアツコを見る。ハイファの北二十二キロに位置している、十二世紀、十字軍によって築えた城郭都市である。イスラエルの町々の多くが石灰岩質の岩石から成っている、町並みが全体に白い。こころもそう。その白さを浮き立たせるかのような地中海の碧さがまぶしい程だ(続く)。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

